

2011年10月5日

陸上自衛隊中部方面総監

荒川 龍一郎 様

ストップ!ヤマサクラ61 (日米共同軍事演習) 大集会実行委員会

事務局長 吉尾 明美

平和と民主主義を守る伊丹連絡会

代表 上原 秀樹

中部方面隊創隊51周年記念行事に関する申し入れ (請願)

例年開催されています陸上自衛隊中部方面隊創隊記念行事に関しては、従来から何度も申し入れ (請願) していますが、空砲の音が市内に響き、市民は大変迷惑しています。

今年も10月16日に中部方面隊創隊51周年記念行事が予定されています。私たちや周辺住民をはじめ市民の間では、例年通りの「戦争」を想定した模擬演習などが行なわれることに懸念が広がっています。

一方、来年1月から2月にかけて予定されています方面隊指揮所演習 (ヤマサクラ61) では、中国を想起させる「ハンナン人民共和国」が日本に侵略することを想定していますが、まったくの非現実的で危険なシナリオです。東南アジア友好協力条約を中心に広がっている流れは、紛争解決は「戦争」ではなく「話し合いによる平和的解決」の方向へと大きく変化しています。当日の模擬演習はまったくの時代遅れであり、多くの参加者や子どもたちに重大な悪影響を与えるものです。

また、例年行なわれている、子どもたちに「戦車」に試乗させたり、「機関銃」を持たせたりするなどの「戦争体験」は、教育上好ましくなく、言語道断です。

よって、予定されている記念行事に際しては、下記の事項を強く申し入れ (請願) するものです。

記

1. 記念行事の中で、「戦争」や「テロ行為」を想定した模擬演習はやめること。予行練習でも空砲などの音を出すことも行なわないこと。
2. 子どもたちに「戦車」への試乗や「機関銃」などの武器に触れさせるような催しはやめること。

以上